

サンガーデン便り

平成 24 年 12 月号

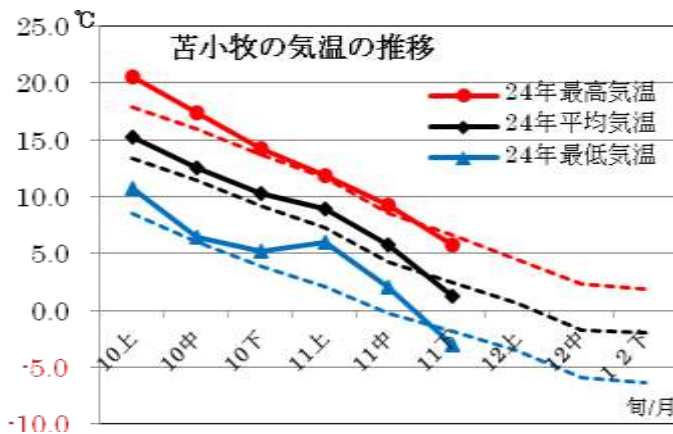


館内の見どころ

館内ではサザンカが満開、ツバキはこれから本格的な開花期を迎えます。ポインセチアのツリーや珍しい皇帝ダリアもお楽しみください。

苫小牧の気象

12 月は、気温は平年並み、晴れの日が少な目で降(雪)水量は多いと予報されています。



12 月と年末年始の休館と催しの案内

★12 月の休館日： 毎週月曜日と 28 日（金曜日）

ただし、12 月 24 日（月曜日）は振り替え祝日なので開館し 25 日（火曜日）が休館日となります。

★年末から年始の休館日

12 月 31 日（月曜日）～1 月 5 日（土曜日）

★12 月 8 日午後 1 時 30 分～3 時 30 分

おしゃれ盆栽講習会：サンガーデン展示実習室

12 月の園芸作業

冬期間は室内園芸が主になりますが、室温が高すぎる、室が乾燥しすぎることが植物の生育に障害になることがあります。

★鉢花・鉢植え花木 サイネリア、プリムラ類、シクラメン、ポインセチアは夜間 10℃以上で、日中は窓辺の良く光の当たるところに置き、人の適温よりやや涼しい 15～20℃で管理すると、花持ちが良く長く花を楽しめます。シクラメンは次々に蕾と新葉が出てま

苫小牧市サンガーデン

〒053-0011

苫小牧市末広町 3 丁目 1 番 15 号

☎0144-33-4411

すので、花がら摘みと葉組みを細目に行います。花がらと枯れた葉は根元からねじるように引き抜きます。中心に近い間のびした葉や重なる葉は外側に引いて下葉に絡ませ、蕾や新葉に光が当たるようにしてあげます。シクラメンやサイネリアなどの次々と花が咲き続けるものは、鉢が乾いたらたっぷり水を与えます。肥料も月 1 回固形肥料を与え、毎週液肥（1000 倍）を施用します。熱帯原産のハイビスカス、ブーゲンビレアは夜間最低温度 10℃以上で、日中はガラス越しの日光に当てて育てます。また、冬期間は肥料を与えず、水は表土が白く乾いてから与えるようにします。

★観葉植物 朝方の最低温度が 13℃以上保ち順調に生育している鉢には、今までと同じように水やりと施肥を続けます。水は鉢表面の土が乾いたら鉢底から多少流れ出るまで与え、鉢皿の余分な水は捨てます。肥料は窒素成分の少ないものを施用します。しかし、観葉植物の最低生育温度を保てない場合は、水はごく控え、肥料は施しません。なお、室内は乾燥していますので、日中霧吹きをして湿度を補いましょう。

★洋ラン シンビジウムが蕾が伸長中の株や開花している株は、日中も 20℃以下の涼しい部屋に置き、長く花を楽しみましょう。デンドロビウム（ノビル系）の開花する株は現在休眠中です。開花までは窓辺に置いて日光に当てますが、高温は避けます。水はごく控え、肥料は与えません。コチョウラン（ファレノプシス）はレースのカーテン越しの窓辺に置き、夜間は 18～20℃の温度を保つようにします。18℃以上の夜間温度を確保できている場合はミズゴケの表面が乾いたらすぐに水を与えますが、以下の場合は 3 日位待ってから水を与えます。なお、暖房中は空気が乾燥しているので葉に霧吹きをします。カトレアは夜間最低温度 10℃を保ち、日中は窓辺に置き十分光に当てますが、25℃以上にならないよう注意します。蕾や花を持っている場合は水を切らせませんが、まだないときはミズゴケの表面が乾いてから 2 日位待ってから水を与えます。